

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
山本 隆一郎	臨床心理学概論	<p>この科目は2年生の通年必修科目であり、2021年度以前のカリキュラムの科目である（そのため、数名しか受講生はいない）。この授業は、膨大で広範な内容に関して学ぶことに加えて、各種臨床心理学モデルの背景にある人間観など、抽象度も高く、学生さんにとっては難しい科目の一つであると考えられる。</p> <p>数名しか受講生がいないため評定等については、ごく少数の特徴の記述になるために言及しないが、高い評価を頂いた。</p> <p>毎年伝えていることではあるが、「臨床心理学」は、勉強するというより学問の探究を通じて人生を考える学問であると伝えてきたつもりである。復習をしたり日常を学んだことで説明しようとしたりすることはきっと人生の役に立つと信じて授業を行ってきた。授業が終わったから終わりではなく、学びを日常生活に生かしていただきたい。</p>
山本隆一郎	基礎ゼミナールB	<p>この科目は、1年生の必修科目であり、「江戸川大学の学生として」「人間心理学科の学生として」の学びの基礎を少人数制のゼミ形式で行う授業である。全体の平均値は4.8点と高い評価を頂いた。</p> <p>以下は、毎年書いていることであるが、この類の少人数制の授業には多く認められることであるが、学生同士の相互作用やインフォーマルな場での交流の良好さという点が大きく評価に関係している。このような評価がいただけたことは、ゼミ全体の雰囲気依存していると考えられる。</p> <p>本授業は、2年制以降の心理学の学び方の基礎が中心でありその真価は次年度以降に認められてくると思う。授業で身につけたことを活かし、心理学の様々な領域の学びを深めてほしいと思う。</p>
山本隆一郎	心理演習	<p>この授業は、3年次配当の公認心理師科目であり、少人数制の演習科目である。これまでに講義等で学んできたことを踏まえ、1年間かけて、心理面接やアセスメント、地域連携に演習や心理相談センターの見学実習演習を通じた体験的学習を行ってきた。授業の全体的な評価は4.7点と高かった。特に授業への熱意、授業目的の明確さ、専門知識のわかりやすさ、話し方の明快さ、授業のスムーズな運営、授業を通じて多くの知識が得られた、という項目は4.8点と高かった。毎回のように課題の提出があり、非常に負荷が高い科目であったがこのような評価を頂けたことは身の引き締まる思いである。</p> <p>以下、例年記載していることであるが、演習の授業は、講義と異なり、それぞれの学生の主体的な参加が重要になる。意義のあるものであると思えたとすれば、個々の学生の努力によるものであろうと思う。</p> <p>また、共同担当者の尾花先生のスムーズで学生が考える仕掛けを工夫していただいたことも大きいと感じる。この学びの真価は、今後の心理実習や日々の自分の生活にどれほど生かされたかによって評価されるべきであると考えられる。今後も引き続き努力を続けていただきたい。</p>
山本隆一郎	専門ゼミナール I	<p>この授業は、3年生対象のゼミナールである。</p> <p>授業に関する評価項目のうち3点以下をつけた方は一人もいなかったが、例年より5点（満点）の項目も少なかった（平均4.5点）。昨年度と同様のプログラムで進行したにも関わらず、平均点が低かったように個人的には思っている。少人数制のゼミは、成員間のコミュニケーションなどが満足度に依存しやすい。教員として成員間のコミュニケーションを活性化仕掛けをすることはできにくい。しかしながら、専門ゼミナール I は受動的に何かを学んだり提供してもらった授業ではなく、自分で参加しコミットメントを高め自分で価値を見出していく授業である。与えられることを待つだけでなく、もっとわくわくするためには「自分で働きかける」ということを考えてほしいと思う。自分で働きかけてくれればそれに一生懸命応えたいと思う。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
山本 隆一郎	専門ゼミナールⅡ	<p>この授業は、4年生対象のゼミナールである。評価は授業に関する評価として最も高かった（平均5.0点）。また、自由記述でも親身に相談に乗ってくれたという記述も頂いた。この授業は、主体的に自分の専門分野を探求するゼミナールである。自分から求めてくれれば、それに授業趣旨を踏まえたうえで最大限応えるのが教員の役割である。それがマッチして大きな意味があったと感じられた背景に、それぞれのゼミ生さんが主体的に一生懸命取り組んだことが大きいと考えられる。</p> <p>さて、専門ゼミナールでの情報の批判的検討や事象についての仮説の設定、実現可能な方法を考え問題解決に取り組む営みの真価は卒業後に確認できるのではないかと思う。卒業生の生活に役立つことを期待する。今後も自分のゼミの専門性を高め、学生さんと研究活動を充実させていきたいと考えている。</p>
西村 律子	基礎ゼミナールB	<p>アンケートへの回答ありがとうございました。</p> <p>本科目は、1年次配当のゼミナールで、特に後期に実施される本授業では、2年次以降の授業へスムーズに移行できるように、心理学研究に関わる基礎的なスキルを身に付けることを目的としています。</p> <p>全体の評価平均は4.5点を超過しており、皆さんからの評価はおおむねよかったものと理解しています。特に、「授業内容はわかりやすいものだった」、「教材・資料などの利用は授業の理解に役立った」という項目の評価点が4.7、4.8と高い得点でした。これらの結果は、皆さんが、本科目において、授業内容を理解していただけたことの反映だと思っています。</p> <p>その一方で、「授業に参加した際は、積極的にノートをとる、質問に答えるなどをした（3.6）」、「教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取り組むを行った（3.8）」、「この授業に関して予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか（2.2）」という項目の評価点についてはいずれも4点を下回っていました。これらのことは、授業外学習への繋がりの低さを示していますので、今後はシラバスに記載されている予習や復習の内容を授業内で確認するなどの対応をしたいと思います。</p>
西村 律子	心理学実験Ⅰ（再履修）	<p>アンケートへの回答ありがとうございました。</p> <p>本科目は、2年次配当の必修科目の再履修クラスです。</p> <p>全体の評価平均は4.5点を超過しており、皆さんからの評価はおおむねよかったものと理解しています。特に、「授業中の自分の受講態度はよかった（4.7）」、「出席率はどうでしたか（5.0）」、「教員の授業に対する熱意を感じた（4.5）」という項目の評価点が高い得点でした。これらの結果は、皆さんが、演習科目である本科目において、毎回出席し、しっかりと受講されたことの反映だと思っています。</p> <p>また、「この授業に関して予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」については、平均3.6という評価点であり、全体の42%の学生さんは、週2時間以上、授業外学習を行っていたことがわかりました。</p> <p>本科目では、心理学研究のレポート作成に関わる基本的なスキルを身につけることを目標としていますので、授業に毎回出席し、さらに授業外学習をしっかりと行ってきたというアンケート結果は、本科目の目標達成に向けて学生の皆さんが頑張ったことを示しているのだと思います。</p> <p>また、自由記述には「心理学実験のレポートの書き方を学ぶことができた」というコメントがありました。本科目は、再履修クラスなので、いろいろな理由で、前期の心理学実験Ⅰの単位修得ができなかった学生さんが、単位修得を目指します。そういった学生さんが、きちんとレポート作成のスキルを身に付けるとともに、受講姿勢も変わっていく様子を見ることできるのは担当教員としてうれしいことです。今後も学生さんがレポート作成のスキルを身に付けることができるよう、しっかり授業をしていきたいと思っています。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
西村律子	専門ゼミナールⅠ	<p>アンケートへの回答ありがとうございました。</p> <p>本科目は、3年次配当のゼミナールです。</p> <p>全体の評価平均は4.5点を超過しており、皆さんからの評価はおおむねよかったものと理解しています。特に、「授業中の自分の受講態度はよかった(4.8)」、「出席率はどうでしたか(4.8)」、「授業内容はわかりやすいものであった(4.8)」、「授業を通して多くの知識を得ることができた(4.8)」、「授業は何を目的としているのかが、明確に理解できた(4.8)」、「教員の授業に対する熱意を感じた(4.8)」という項目の評価点が高い得点でした。これらの結果は、皆さんが、演習科目である本科目において、毎回出席し、しっかりと授業内容を理解されたことの反映だと思っています。</p> <p>また、「この授業に関して予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」については、平均4.0という評価点であり、全体の50%の学生さんは、週2時間以上、授業外学習を行っていたことがわかりました。</p> <p>卒業研究に向けて、それぞれの学生さんが研究テーマ策定のために本科目を受講しているのので、このアンケート結果は当然のことかもしれませんが、来年度も引き続き皆さんの研究のサポートができるよう頑張っていきます。</p>
西村律子	専門ゼミナールⅡ	<p>アンケートへの回答ありがとうございました。</p> <p>本科目は、4年次配当のゼミナールです。</p> <p>全体の評価平均は4.5点を超過しており、皆さんからの評価はおおむねよかったものと理解しています。特に、「授業中の自分の受講態度はよかった(4.6)」、「出席率はどうでしたか(4.8)」、「授業内容はわかりやすいものであった(4.9)」、「授業を通して多くの知識を得ることができた(4.9)」、「授業は何を目的としているのかが、明確に理解できた(4.9)」、「教員の授業に対する熱意を感じた(4.9)」という項目の評価点が高い得点でした。これらの結果は、皆さんが、演習科目である本科目において、毎回出席し、しっかりと授業内容を理解されたことの反映だと思っています。</p> <p>また、「この授業に関して予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」については、平均4.0という評価点であり、全体の50%の学生さんは、週2時間以上、授業外学習を行っていたことがわかりました。</p> <p>自由記述では、「2年間西村先生のクラスで本当に良かったです」「2年間ありがとうございました」などのコメントがありました。ありがとうございます。</p> <p>卒業研究完成にむけて、みなさんがそれぞれ本当によく頑張ったので、その結果として本科目の満足度が高かったのだと思います。ひとつのリサーチクエスチョンに対して、どのようなアプローチでそれを解決するのか、そしてそれをどのように報告することで他者の理解を得られるか、それらのことから学んだことが、皆さんの今後の生活の中のいつかのタイミングで活かされることがあると思います。これからも学生さんに研究の一連の体験を正しく経験してもらえよう精進します。</p>
山田洋介	マーケティング特講	<p>アンケートの回答ありがとうございます。</p> <p>概ね高い評価をいただいておりますが、少し予習・復習の取り組み時間が少なかったようです。</p> <p>より興味を持って予習・復習に取り組んでもらえるよう予習課題・復習課題のテーマ設定、課題内容を検討していきます。</p> <p>また、自由記述の意見が少なかったのので、次回アンケートでは自由記述意見を忌憚なく聞かせてください。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
石橋美香子	発達心理学II	<p>自由記述へのコメントをお返しします。</p> <p>発達について理解でき、実験動画をみることで、資料だけで分からないことも教えてもらえて良かった、一年通年で受けたが、一番面白く初めての発見があった、などのコメントがあり、映像を適宜用いて、学生の皆さんの理解が深められるよう工夫できたように感じています。一方で、資料が多かった、ビデオ鑑賞のときはオンデマンドやオンラインを利用してほしかったというコメントがあり、授業形態を工夫する必要があったと感じています。また、5限の必須は厳しいとの意見もありました。</p> <p>来年度はオンデマンドでの授業にし、適宜皆さんが授業を繰り返しみながらより学習効果が高まるように工夫したいと考えています。</p>
金田正明	マクロ経済学	<p>マクロ経済学を履修していただき、有難うございました。「学生による授業評価アンケート」の結果を拝読いたしました。この科目のシラバスをよく読み、成績の評価基準を理解して履修したとする評価平均が高かったこと、嬉しく思います。加えて、授業の開始や終了時間の厳守、学生の私語への注意、教員の授業への熱意なども高評価をいただきました。アンケート設問内容で、「予習や復習などに時間をかけた」の評価平均が3.3と低かったことは、残念です。シラバスに書かれているように、授業前の予習や授業後の復習に時間を割いていただけると、もっと授業内容への理解度が上がり、それが成績にも反映されると考えます。有難うございました。</p>
金田正明	フードビジネス論 II	<p>フードビジネス論IIを履修していただき、有難うございました。「学生による授業評価アンケート」の結果を拝読いたしました。この科目のシラバスをよく読み、授業中の受講態度、出席率も高く、真剣に受講していただきました。「授業を通して多くの知識を得ることができた」に高評価をいただきました。嬉しく思います。アンケート設問内容で、「予習や復習などに時間をかけた」の評価平均が2.7と低かったことは、残念です。シラバスに書かれているように、授業前の予習や授業後の復習に時間を割いていただけると、もっと授業内容への理解度が上がり、それが成績にも反映されると考えます。有難うございました。</p>
水嶋陽子	高齢社会論	<p>「知識を得られた」という回答が多い一方で、「わかりやすさ」については学生の評価が低いため、今後、学生の理解度に応じた、より丁寧な説明を心がけたい。</p>
林 香織	マスコミ総合科目C	<p>すべての項目で、平均以上の評価でした。一般常識を高める小テストを毎回おこなってきました。マスコミ総合科目Bと併せて、1冊のテキスト、すべて勉強しつくしました。「6、予習・復習」は全学平均「2.8」に対し、「3.2」と上回っていました。1冊分+αの知識を武器に、就職活動、頑張りましょう！</p>
林 香織	マスコミ総合科目A	<p>一部の項目を除いて、平均かそれ以上の評価を頂きました。「12、教材・資料の見やすさ」「13、板書の見やすさ」は総じて、平均より低く全学平均「4.6」に対し、「4.4」と低くなっていました。思い当たることとして、ゲスト講師の先生方の資料だと思いますが.....先生方の資料には最新で外に出せないデータなどが含まれていることもあり、スマホでの撮影などが禁じられる場合もありましたし、パワーポイントのない先生もいました。できるだけ、ゲストの先生には配布用の資料を準備して頂けるように、お願いしてみます。一方で、資料がないときは、メモを取る訓練だと思って頑張るとか、意識の変革も必要かな、と思います。レポートの書き方も、半年間きちんと指導したつもりです。コメント、ちゃんと読みましたか？返却時に毎回きちんと評価理由と上達するためのアドバイスを記入しました。レポートの書き方に自信がなくなった時は、レポート執筆のための資料を参照してください。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
林 香織	マス・コミュニケーション演習A	<p>演習Aと実習A、ほとんど同じ評価だったので、まとめて記述します。この科目は「コミュニケーション演習」として設定し、グループワークを中心とする企画立案の基礎を学習する演習形式の授業です。ほぼすべての項目で平均を上回りました。「11、授業の目的」は全学平均4.6)に対し、満点の「5.0)を獲得しており、何を狙いとしているのか、正しく理解して頂いたことに感謝します。理由として、毎授業の振り返りをまとめたシートを作成することがよいのだと感じています。他の人からの評価や、演習の狙い、結果などをまとめるのに時間がかかりますが、受講生がきちんと理解してくれるなら、この手間を惜しまず、取り組んでいこうと思います。半年間、楽しく演習することができました！受講生が決めた、自動販売機がB棟1階に設置されたこと、そしてD棟1階のファミマ側のトイレがすごいことになっているので、授業の成果を確認しに行ってください！</p>
林 香織	専門ゼミナール	<p>すべての項目で、平均以上の評価でした。人数の少ないゼミナールは回答しにくいかもしれませんが、自身の取り組みも、授業の進め方についても、高く評価されたことは、素直にうれしく感じました。年間を通し、調査に取り組んできましたが、ゼミ生同士助けあって、SPSSの使い方、分析の方法などを体得していったのだと思います。ゼミ生同士の学習が専門ゼミをより豊かなものにしていきます。卒論の執筆でも、ゼミ生で助け合うことが生かされるとよいですね！</p>
林 香織	広告メディア論	<p>1限の授業だったので、「3、出席率)に関しては、全学平均「4.8)に対し「4.6)とやや低くなっていました。それが影響しているのか、「8、授業の評価資格)についても全学平均「4.4)に対し、「4.0)など低くなっていました。ただし、「6、予習復習)については、全学平均「2.8)に対し、「3.6)と平均を大きく上回っていました。少ない人数の受講生である分、事前学習の大事さが際立った結果かもしれません。反転授業とは、授業前に関連する知識を勉強し、教室ではそれを確認しながら、応用させていくタイプの授業です。予習復習が絶対条件なので進め方が非常に難しいのですが、本年については、予習復習に取り組む割合が非常に高く、授業が進めやすかったと思います。受講生に感謝します。次年度以降、別の科目を担当することになったので、この授業は本年度で終了ですが、最後に素晴らしい企画に巡り合うことができ、嬉しかったです。この経験を他の科目に活かしていきたいと思います。</p>
林 香織	メディアの法と倫理	<p>すべての項目で平均か平均以上の評価を頂いています。驚いたのは、「3、出席率)に関する質問で、評価平均が5.0の満点だったこと。毎回の授業の後半に「人の意見を聞く)というディスカッションタイムを設けたことで、出席率が上がっていたのかもしれませんが。単純に2限という時間帯もあると思いますが.....。ですが、受講生はみな一応にきちんと授業に出席していたと思います。人と話をするのが苦手な人もいると思いますが、この形式は今後も続けていこうと思います。また、「6、予習・復習)に関する項目も全学平均が「2.8)であるのに対し、本科目では「3.4)とかなり高くなっていました。私が担当している他の授業と同じようにシラバスでは予習復習を設定しましたが.....この科目だけとびぬけて高くなっており、逆に受講学生にどのような予習復習をしていたのかをお伺いしたいくらいです！他の科目でも、このような点数を獲得できるように、理由を探してみたいと思います。半年間、一緒に勉強することができて楽しかったです！</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
福田一彦	教育心理学	<p>評価の中で全学平均よりもやや高い値を示したのは、「6. この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」「7. 成績の評価基準を理解している」「8. この授業に対する自分の取り組みから考えて、自分はこの授業を評価する資格がある」「10. 授業を通して多くの知識を得ることができた」の4つでした。多くの人は真面目に授業を受講してくれていたのではないかと思います。</p> <p>自由記述欄では「難しかったです。オンデマンド形式だったので繰り返し確認することができて良かったです。」との記述がありました。真面目な学生さんの書き込みだと思います。教職の授業ですが、教師とは大変な仕事だと思います。頑張ってください。</p> <p>私のこの授業の担当は今年度が最後です。来年度からは新しい先生が担当します。長い間有難う御座いました。</p>
福田一彦	心理学概論B	<p>全学平均よりも値が低かったのは、「4. 授業に参加した際は、積極的にノートをとる、質問に答えるなどをした」「5. 教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取組を行った」「6. この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」「17. 学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営につとめていた」でした。</p> <p>この授業はオンデマンド形式の授業なので、17については、低評価というより「当てはまらない」という解釈が妥当だと思います。4, 5, 6は、すべて授業への学生自らの取り組みについて自己評価であって、その評価が低かったのは残念ですが、人間心理学科の学生さんたちはかなり真面目だと思うので、やや自己卑下的な部分もあるのではないかと思います。</p> <p>自由記述欄には「内容は心理学的要素が多くて面白かったが動画を見るたびに私の耳が悪いのか、聞き取れない事が多かった」「一つ一つの用語解説があったので、割とスムーズに理解する事ができました。また、一つ一つの説明が丁寧だったので、とても助かった」「とても分かりやすい授業でした」との記述がありました。聞き取りにくいという点については、一概に言えませんが、他には同様な指摘がないので、受講者の通信環境などの問題もあるかもしれないと思いました。大学での通信環境で受講してもらうとトラブルが減るかもしれません。他の記述は比較的好意的で有難く読みました。</p> <p>私の、この授業の担当は今年度で最後です。受講者の皆さんお疲れさまでした。</p>
福田一彦	専門ゼミナールⅡ	<p>全学の平均よりも高い値を示したのは、「2. 授業中の自分の受講態度は良かった」「5. 教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取組を行った」「6. この授業に関して予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」「10. 授業を通して多くの知識を得ることができた」「11. 授業は何を目的としているのかが、明確に理解できた」「16. 話し方は明確だった」「17. 学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営に努めていた」「23. 総合的に考えて、この授業を交配や他の人に薦めたい」でした。</p> <p>この授業は専門ゼミであり、少人数科目なので、高い評価は当たり前だと思います。この類の授業で低評価となるのであれば、それは教員としての責任を果たしていないということだと思います。</p> <p>さて、教員としての最後のゼミでしたが、全員がちゃんと卒業研究を提出し合格し、全員が卒業できたことに大変感謝いたします。おめでとうございます。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
吉田一康	企業と法Ⅱ	<p>全般的に、高い評価をして頂きましてありがとうございます。その中であって、設問12「教材・資料等の利用は授業の理解に役立った」、設問13「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」及び設問14「専門知識や専門用語の説明は分かりやすかった」が4.7と相対的に低かったことから、プロジェクターの画面を更に見やすく、かつ分かり易くする必要があったと考えました</p> <p>設問5「教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取組をおこなった」が4.5で、設問6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が1.6だった点については、引き続き、講義内で、次週のテーマの紹介や課題などを明示して、予習や復習を習慣づけなければならないと考えました。</p> <p>受講者に関しては、ほとんどの方が後ろに着席して、前列が空席だったのは寂しかったのですが、授業態度は、驚くほど静かで真面目なものでした。御礼申し上げます。</p>
尾花真梨子	基礎ゼミナールB	<p>アンケートへの回答をありがとうございます。この科目は、心理学研究の基本的な考え方、研究の成果物である学術論文の分析的読み方や研究内容や成果の効果的なまとめ方としての図表の作成のルールや方法を体験的に学び、さらに、研究に用いられる各種ソフトウェアの使い方を体験し、2年次以降の専門的な心理学の学習や研究を進めていく上での技能を学習することを目的とした、少人数制のゼミナールです。全体の平均値が4.7であり、履修した皆さんにとって比較的満足度の高い科目であったと考えられます。その一方で、「6.予習・復習などにかかる時間」は低い値となりました。科目の性質上、予習を行うことは難しいこともあるかもしれませんが、学習した内容がその後の皆さんの大学生活と関連することが多いので、ぜひ積極的に振り返りをしてください。</p>
尾花真梨子	児童心理学	<p>アンケートへの回答をありがとうございます。この科目は、人間の生涯発達過程における子どもの心身の発達と適応問題に焦点を当て、子どもの発達に対する多面的な理解とさまざまな支援方法について理解することが目的となっています。今年度も多くの履修者がいましたが、全体の平均値が4.6であったことから、概ね満足度が高かったものと思われます。また、自由記述でも、「専門的知識が学べた」「とてもわかりやすかった」「自分の幼少期に当てはまる話があると、聞き入ってしまった」などのコメントをいただきました。ただし、「5.予習・復習、授業に関連する取り組み」や「6.予習・復習などにかかる時間」は、他と比べると低い値となっていました。皆さんが積極的に予習・復習に取り組めるように、今後も検討・工夫していきたいと思えます。</p>
尾花真梨子	専門ゼミナールⅠ	<p>アンケートへの回答をありがとうございます。この科目は、発達臨床心理学および学校臨床心理学領域への理解を深め、文献購読や研究計画書の立案を通して、自身の興味関心の整理や文献の批判的検討、4年次の卒業研究に向けた準備等を行うことを目的とした、少人数制のゼミナールです。プレゼンテーションとディスカッションを中心とした授業構成であり、履修している皆さんにとって負荷のかかる科目であったとは思いますが、全体の平均値が4.7であり、比較的満足度の高い科目であったと考えられます。その一方で、「6.予習・復習などにかかる時間」は人によってばらつきがあったようです。卒業研究に向けて、一人一人が主体的・積極的に取り組めるような工夫をしていきたいと思えます。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
尾花真梨子	専門ゼミナールⅡ	アンケートへの回答をありがとうございます。この科目は、発達臨床心理学および学校臨床心理学領域において設定した研究テーマに基づいて、文献の批判的検討に基づく研究デザインの検討力、データ収集に必要な知識や研究倫理の理解、データの解析に必要な知識や技術の習得、結果の解釈と考察に必要な知識と技能の習得、科学論文執筆に必要なライティングスキルやプレゼンテーション技能の習得を目的とした、少人数制のゼミナールです。それぞれが設定したテーマでの卒業論文の完成に向けて、多くの労力を割く必要がありましたが、全体の平均値が4.7であり比較的満足度の高い科目であったと考えられます。また、自由記述でも、「わからないことがあった時やなかなか進まない時、最後まで指導してくださってありがとうございました」「執筆にあたり、とても丁寧に指導していただいた」「自分のやりたい研究に取り組むことができたし、このメンバーでよかった」などのコメントがあり、ゼミでの研究活動が充実していたことがうかがえます。研究を通して得たものを、今後の生活や社会の中で積極的に活かして行って欲しいと思います。
浅岡章一	神経・生理心理学	アンケートの結果、評価が低かった箇所は、①「予習復習の時間」、②「授業内容の解りやすさ」、③「学生の私語等への注意」となっていました。予習・復習の時間が足りておらず、そのことが授業内容の理解の難しさにつながっているとアンケート結果からは推測できます。今後は、具体的な予習・復習の指示を行い、学生の授業理解を高められるよう工夫したいと思います。なお③の私語等への注意に関しては、本授業はオンデマンド授業のため、評価の対象外かと思えます。
浅岡章一	実験心理学特殊講義	全体として、非常に高い評価を頂きました。3年生以上が対象となる専門科目という事もあり、本授業では時間がかかる課題の数もそれなりにあったかと思いますが、授業外での学習時間も過度では無かったようで安心しました。また、非常に高度な内容を扱っていたかと思いますが、理解度も高かったようで、受講された学生さんのモチベーションの高さがうかがえるアンケート結果でした。
浅岡章一	基礎ゼミナールB	アンケート結果を見ると、予習・復習の時間が少なかつたようです。もう少し課題が多くてもいいかと思っています。また板書や機器を使った文字表示が見づらいとの回答を頂いていますが、これは恐らくPC画面を映すモニターの見づらさに起因していると思います。自由記述でも呈示用のモニターの問題についてコメントを頂いています。大学側に画面の大きさや配置について改善を求めています。
浅岡章一	専門ゼミナールⅠ	全般的に高い評価を頂きました。予習・復習の時間に関する回答を見ても、受講生の皆さんが、授業外の時間にも積極的に授業に取り組む様子が伺え、大変有り難く思っています。今後もより良いゼミ運営のために頑張っていこうと思っております。
浅岡章一	専門ゼミナールⅡ	全体として高い評価を頂きましたが、授業開始・終了時刻についての評価は低くなっていました。授業時間の延長が生じないように注意してゼミ運営出来ればと思います。また、自由記述では温かいお言葉を多数いただきました。感謝いたします。
丹羽 浩之	音楽社会学	アンケートのご回答ありがとうございます。自由記述に「音楽のタイアップについて幅広く学習し、とても素晴らしい授業だったと思います」と感想をいただきました。音楽業界への就職を希望する学生だけではなく、広く知見を積み上げていきたい学生にも少しでも有益になる内容を意識して今後も講義していきます。

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
山本一樹	流通システム論	<p>グローバルサプライチェーンの重要性をより明確に認識すべき時代に、大変革期にある流通業界の動向をわかりやすく伝えるよう意図したことが、「質問9 授業内容のわかりやすさ」「質問10 授業を通して多くの知識を得ることができた」の高評価につながったことを喜ばしく思います。また「質問23 総合的に考えてこの授業を他の人に薦めたい」も、平均を上回る評価を獲得できました。学生諸君が変貌しつつあるビジネスの姿をより深く理解できるように、今後も務めていきます。</p>
川崎濃	スポーツ産業論Ⅱ	<p>アンケートへのご協力ありがとうございました。全体としては評価平均を上回る結果となっていました。が、「授業のわかりやすさ」や「多くの知識を得ることができた」などの項目で、「どちらとも言えない」や「あまりそう思わない」と回答してくれた方が数名いることも事実です。各回のリアクションペーパーで授業の評価やコメントもいただいていますので、そちらの内容も踏まえて、「わかりやすく、得るものが多い」授業を目指して行きます。</p> <p>「予習や復習にかけた時間」については、全体でも本授業でも低い評価結果となっていました。私の授業では、第1回目の授業で必ず「考える」と「書く」ことの方法論について簡単な説明と書籍の紹介をしています。「書く」ことについては「R80（アールエイティ）」という書籍を紹介し、予習や復習の際にも意識してもらおうようにお伝えしています。自分の考えを簡潔かつ論理的に書けるようになるには、日々の意識やトレーニングが欠かせません。予習や復習にしっかり取り組むことは、将来仕事をしていく上で困らないスキルを習得するためのトレーニングにもなりますので、ぜひ積極的に取り組んでいただければと思います。</p>
川崎濃	スポーツビジネス概論	<p>アンケートへのご協力ありがとうございました。私の担当する他科目でも同様の傾向でしたが、全体としては評価平均を上回る結果となっているものの、「授業のわかりやすさ」や「多くの知識を得ることができた」などの項目で、「どちらとも言えない」や「あまりそう思わない」と回答してくれた方が数名いることも事実です。各回のリアクションペーパーで授業の評価やコメントもいただいていますので、そちらの内容も踏まえて、「わかりやすく、得るものが多い」授業を目指して行きます。</p> <p>「予習や復習にかけた時間」については、全体でも本授業でも低い評価結果となっていました。私の授業では、第1回目の授業で必ず「考える」と「書く」ことの方法論について簡単な説明と書籍の紹介をしています。「書く」ことについては「R80（アールエイティ）」という書籍を紹介し、予習や復習の際にも意識してもらおうようにお伝えしています。自分の考えを80文字で簡潔かつ論理的に書けるようになるには、日々の意識やトレーニングが欠かせません。予習や復習にしっかり取り組むことは、将来仕事をしていく上で困らないスキルを習得するためのトレーニングにもなりますので、ぜひ積極的に取り組んでいただければと思います。</p> <p>「教員とコミュニケーションを行う機会の提供」について、「説明がなかった」、「覚えていない」と回答していただいた方が数名いましたが、私の授業では全体の授業が終了した後も10分程度個別の質疑に対応する時間も設けています。特にスポーツに関心のある方や、もっと知りたい、聞きたいと思っている方は、気軽に声をかけてください。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
蛭原 正貴	グループ体験	この科目は選択科目ではあるものの幼稚園教諭1種免許状の取得要件となっているため、科目の開講学年である2年生のほとんどの方が受講されていました。全体的な評価としては、全学評価よりも0.1ポイント少ない4.5ポイントとなっていました。特に、「教材・資料等の利用は授業の理解に役立った」という項目については4.3ポイントと平均よりも0.2ポイント低くなっていました。科目名の通り、基本的にはグループワークを中心として行うため、授業冒頭と終わりの部分で解説を行っていましたが、グループワークの意味づけとしては弱かったのかもしれませんが。グループワークを行う意味を理解するためにも、教材・資料の提示の仕方について検討したいと思います。
蛭原 正貴	身体表現の技術	この科目は保育士資格の取得要件となっているため、科目の開講学年である2年生のほとんどの学生が受講していました。2コマに分かれて授業を行ったため、全体的な評価は4.5ポイントと4.4ポイントとなっており、全学平均よりも0.1ポイント、または0.2ポイント低い結果となっていました。なかでも、「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」という項目がどちらも4.2ポイントと、全学平均よりも0.2～0.3ポイント低くなっていました。実技科目であり、板書や機器を使うことがなかったため、質問の回答自体が難しかったかと思えます。ただ、板書や機器を用いたほうが理解が進む場面もあるかと思えますので、必要に応じて板書や機器を使用することを検討し、学生の皆さんの理解が深まるよう努めたいと思います。
蛭原 正貴	教育・保育実践演習	この科目は幼稚園教諭1種免許状及び保育士資格の取得要件となっているため、科目の開講学年である4年生のほとんどの学生が受講していました。全体的な評価としては4.7ポイントとなっており、全学平均を0.1ポイント上回っていました。教員の指導に関わる項目については、全学平均を下回っていた項目がなかったため、授業内容や進め方にはおおむね高い評価をいただいたのではないかと思います。4年間の総まとめとなる科目でもあることから、毎年授業内容に関して担当教員間で検討を行っていますが、引き続き、学生の皆さんの学びが深まるよう努めたいと思います。
蛭原 正貴	こどもコミュニケーション基礎	この科目は1年生の後期ゼミ科目となっており、前期に引き続きゼミのメンバーで活動を行いました。全体的な評価としては、4.5ポイントとなっており、全学平均よりも0.1ポイント低い結果となりました。特に、「教材・資料等の利用は授業の理解に役立った」という項目が4.1ポイントと全学平均よりも0.4ポイントも低くなっていました。コミュニケーションを重視した内容ではありましたが、レポートやパワーポイントの作成における資料提示が少なかった点は反省点であると感じています。学生の皆さんのニーズを把握しながら、適切な教材・資料の提示ができるよう努めたいと思います。
小久保利己	脚本論	1限という事もあり、受講生は少ないが、評価は良いものでした。それは逆に本気で脚本を学びたい、書きたいと言う学生が多く受講していたと考えています。僕自身も添削は大変でしたが、講義は手ごたえのあるものでした。将来この受講生の中から一人でも多く、脚本家をはじめ映画業界を目指す人材が出てくることを期待しています。
小久保利己	映画史	本講義の目的は、映画の歴史を単に学ぶだけではなく、学生の皆さんが過去の様々な名作に触れる機会の一助となればと考えています。その意味で、評価が水準以上であったことから、その効果がいくばくかあったと思えました。しかしながらどうしても時間の制約の中で、伝えきれないことがあったとも反省しています。どうすればより効率的に学生に伝えることが出来るのかを考え、改善していきたいと思えます。

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
小久保利己	映画映像論	アンケートの平均は悪くないものの、映像制作のスキーム等の解説が少し理解が難しかったと感じています。又、後半の映画企画書作成もやや時間に追われてしまいました。このアンケートの評価を活かして、今後の講義に役立てていきたいと思っています。
本多 悟	ことばと表現（話しことば）	「ことばと表現（話しことば）」の授業では、将来、メディアの制作現場で使えるスピーチ力、プレゼンテーション力を養うために、実践的なトレーニングをおこなっています。毎回、原稿・プレゼンテーション資料作成、動画作成の課題を出しましたが、受講生の皆さんが課題に対して真摯に取り組んでいただいたことに感謝を申し上げます。 アンケートの自由記述欄に「WordやPowerPoint、動画と回によって使うものが違うのでいろいろなスキルが身につけられると思う」とのコメントをいただいたので、今年度も多少なりともお役に立てた実感を得られました。 一方で、「フィードバックをする生徒が偏っているのが寂しい」とのコメントをいただきましたので、次年度はより多くの学生が積極的にフィードバックをおこなうように改善したいと思います。 皆さんからいただいた評価とコメントを参考にして、より良い授業を目指します。
本多 悟	出版論Ⅱ	「出版論Ⅱ」の授業は、「出版コンテンツプロデューサー」としての編集者の仕事を学び、編集者の未来を探ることをテーマにしています。事前課題として、次回のテーマに沿ったインターネット上の関連記事を探して読んでおくことを義務づけましたが、受講生の皆さんが課題に対して真摯に取り組んでいただいたことに感謝を申し上げます。 授業中には私が作成したPowerPointの資料を受講生の皆さんに読み上げていただいておりますが、アンケート設問9「授業内容はわかりやすいものだった」、アンケート設問10「授業を通して多くの知識を得ることができた」において4.8の評価をいただいたので、今年度も多少なりともお役に立てた実感を得られました。 また、書籍企画書を各自作成、プレゼンテーションをおこない、現役編集者によるフィードバックを受ける機会を設けましたが、「実際に書籍企画書も考えられたので印象に残る授業となった」とのコメントをいただきましたので、次年度以降も継続したいと思います。 皆さんからいただいた評価とコメントを参考にして、より良い授業を目指します。
中島健夫	ドキュメンタリー論	授業評価アンケート拝読しました。一部の方から話すスピードが速いというご指摘をいただきました。この点については2025年度の反省材料として改善して参ります。
中島健夫	国際報道論Ⅱ	授業評価アンケートありがとうございます。皆さんの国際報道の興味関心につながったとしたら幸いです。予習復習の取り組みが難しいという声が多かったようなので、次週の授業予告で、次回のトピックを、調べるなどの取り組みで予習復習に充てられるかどうかを今後の課題として考えてまいります。